

PolicyGarageと自治体との協働

2022年7月27日 BECC JAPAN2022前夜祭

NPO法人PolicyGarage 加藤優里

PolicyGarageについて

人間中心のアプローチで、公共政策をよりよくする



人の行動を理解することで
小さな工夫で
望ましい行動を実現



本当に意味（効果）
のある
費用対効果の高い仕事



市民の
真のニーズに応える
共感の行政

横浜市行動デザインチーム（YBiT）がきっかけ

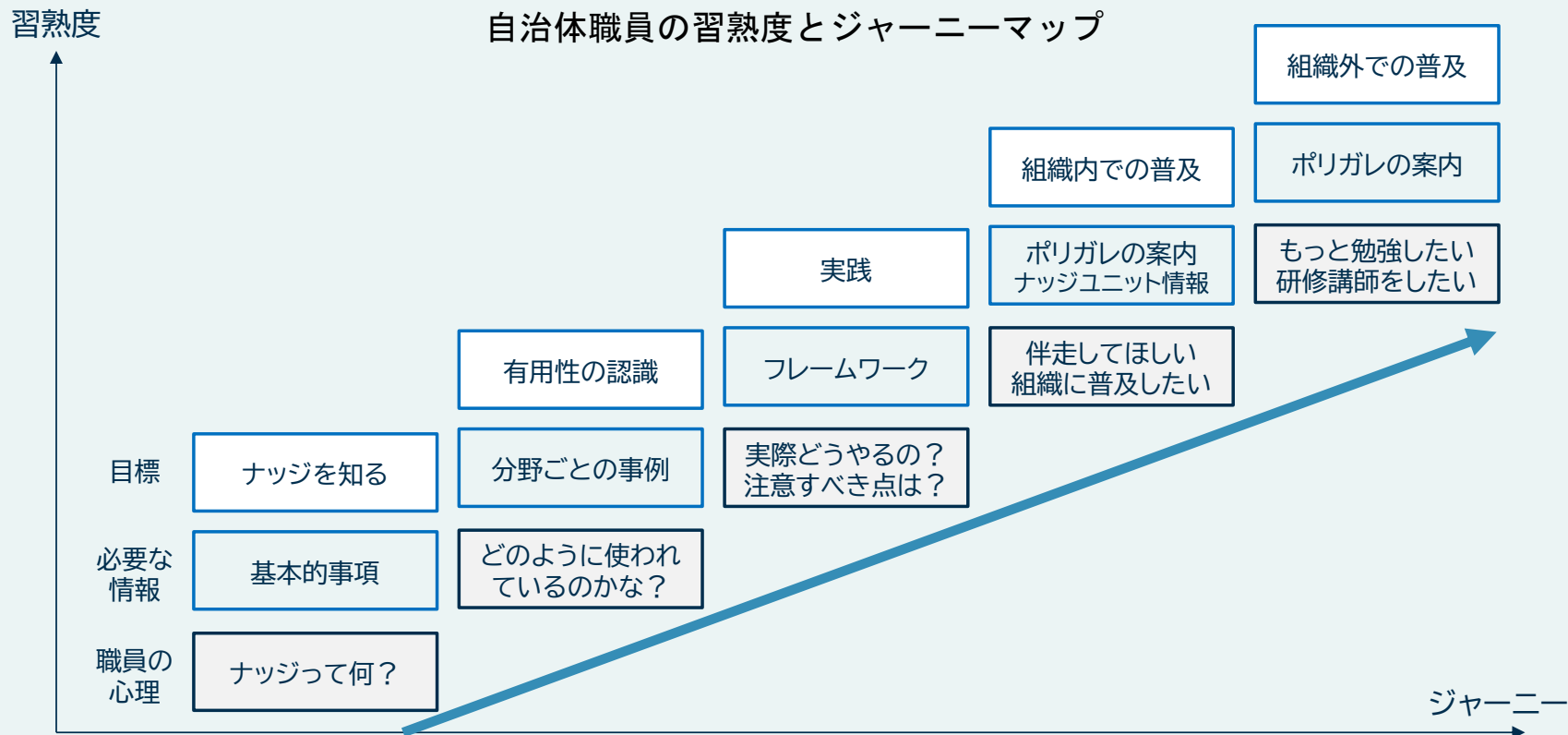
- ・ 2019年、横浜市行動デザインチーム（YBiT）が設立され、データ・エビデンスに基づく政策（EBPM）や行動科学（ナッジ等）等の革新的政策手法の活用をリード
- ・ 政府からナッジアンバサダーに任命され、全国自治体への政策イノベーション普及を担う
- ・ YBiTの成果をベースとして、2021年1月、NPO法人PolicyGarage設立



現在は...

- ・ 約30名の省庁・自治体・研究機関・学校関係者・民間のメンバーがPolicyGarageの運営を担う
- ・ PolicyGarage コミュニティの関係者は約900名以上に増加
- ・ 設立以降、約100件の相談（研修 / 講義 / ナッジユニット設立支援 / 個別事業支援 / 協業事業 / 執筆など）

自治体職員へのステージに合わせた協働



自治体職員のステージに合わせた協働

職員の
心理

ナッジって何？

どのように使われて
いるのかな？

実際どうやるの？
注意すべき点は？

伴走してほしい
組織に普及したい

もっと勉強したい
研修講師をしたい

Policy
Garage
のメニ
ュー

研修・ワークショップ

講演

ナレッジシェア（note記事/ポリガレウェブサイト/研究会）

国内外ネットワーキング（研究会/Facebookグループ/イベント）

伴走型支援

ナッジユニット設立支援

鹿児島県出水市のケース

職員の
心理

ナッジって何？

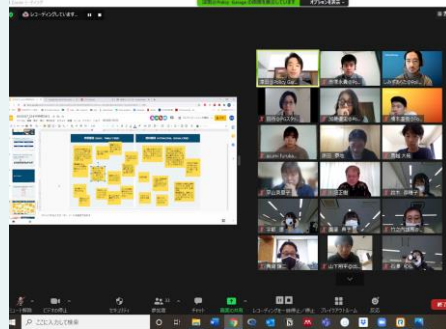
どのように使われて
いるのかな？

実際どうやるの？
注意すべき点は？

伴走してほしい
組織に普及したい

もっと勉強したい
研修講師をしたい

2021年2月 ワーク型研修(2回)



2021年5月
ユニット (IBit) 設立
(キックオフ支援)

2021年6月～
個別事業での伴走型支援



税金のお支払いは、お早めに。

11月1日(月) まで

98.9%

STEP1 STEP2 STEP3

税金課からお知らせ

自宅で快適！
テレワークでワークライフバランス！

テレワーク実施

Q. 何処まで？
Q. 何処まで？
Q. 何処まで？

北海道庁のケース

職員の
心理

ナッジって何？

どのように使われて
いるのかな？

実際どうやるの？
注意すべき点は？

伴走してほしい
組織に普及したい

もっと勉強したい
研修講師をしたい

2021年6月
HoBiT新メンバーへ初心者向け研修

2021年2月
HoBiTメンバー向け
ワーク型研修(2回)



「エゾシカと車両の衝突対策」について
伴走型支援

堺市環境局のケース

職員の
心理

ナッジって何？

どのように使われて
いるのかな？

実際どうやるの？
注意すべき点は？

伴走してほしい
組織に普及したい

もっと勉強したい
研修講師をしたい

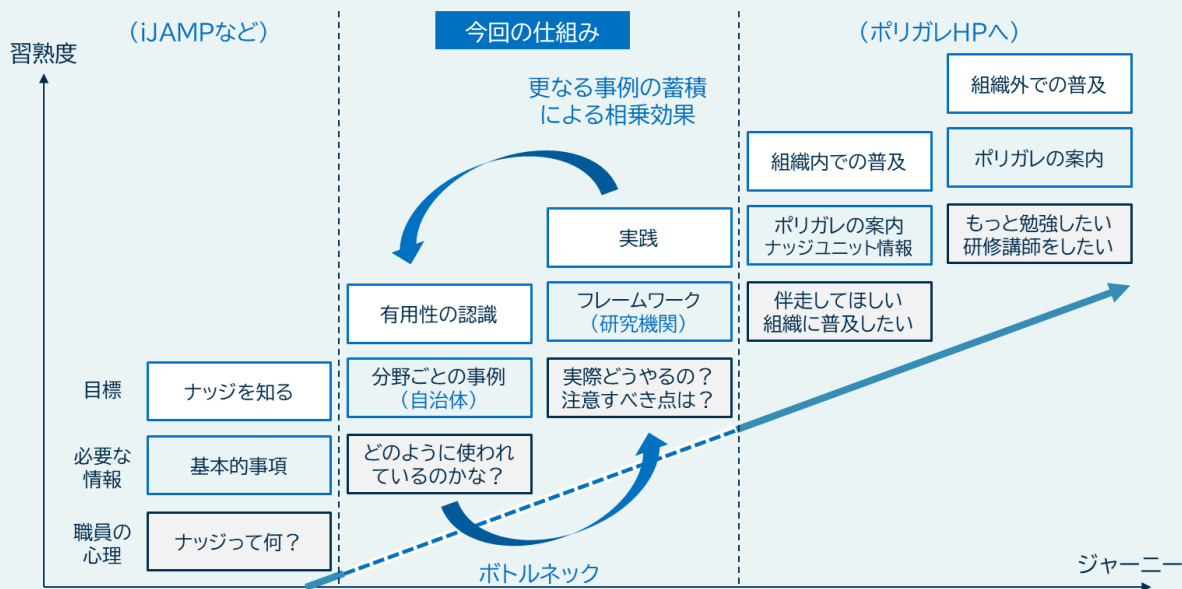
外部アドバイザー
としての協働

SEEDs外部アドバイザー

- 大阪産業大学大学院人間環境学研究科 教授 花田 真理子 氏
- 大阪公立大学大学院経済学研究科 教授 七條 達弘 氏
- 大阪公立大学大学院経済学研究科 教授 鹿野 繁樹 氏
- 特定非営利活動法人Policy Garage 理事 森山 健 氏
- 特定非営利活動法人Policy Garage 加藤 優里 氏

ウェブサイト「自治体ナッジシェア」

実務者（PolicyGarage）とアカデミア（大阪大学社会経済研究所、行動経済学会）で連携し、ナッジの習熟度別に、自治体職員が次のステップに進むために必要な情報を提供するウェブサイト「自治体ナッジシェア」を構築中（10月頃公開見込み）



BECC JAPANとの連携

BECC JAPANとの協働により、環境・エネルギー分野における行動変容に関する情報交換やネットワーキングを行う場として、オンラインコミュニティ「BECC JAPAN Plus ft. PolicyGarage」を構築。本日オープン！

BECC JAPAN Plus

Threads
Direct messages
Mentions & reactions
Slack Connect
More

Channels

- # 000_はじめにご一読
- # 001_自己紹介
- # 099_事務局からのアナウンス
- # 101_情報交換_event
- # 102_情報交換_technology
- # 103_情報交換_education
- # 104_情報交換_awareness
- # 105_情報交換_insight
- # 106_情報交換_policy

104_情報交換_awareness

Tuesday, 28 June



平山 翔 (住環境計画研究所) 09:34

補助金以上にヒートポンプの採用を促進させる方法は何か？ (国際 (UK), BITウェブサイト, 2022/6/27)

ヒートポンプの採用を加速させるための手法をWEB実験により検証したBITのブログ記事が出ていました。

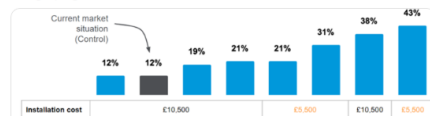
ランニングコスト低下と利子補給が、英国政府の補助金 (£ 5,000) と同程度に効果的であることが明らかになったそうです。

結果からの政策への示唆がなるほどと思いました。

- 無金利ローン提供 (利子補給) は、£ 5,000の補助金支給より政策コストは安いですが、促進効果は同程度であるため、採用を検討するべきである
- ランニングコスト低下も有効であるため、電力料金の課税をガスに転嫁することで、現状の補助スキームを補完できることが示唆された

<https://www.bi.team/blogs/how-can-we-boost-uptake-of-heat-pumps-beyond-the-effect-of-subsidies/> (edited)

image.png



ポリガレと共に挑戦する自治体・団体募集！

<https://policygarage.or.jp>
info@policygarage.or.jp



Thank You

1. 本資料は一般的な情報提供のみを目的としており、専門のアドバイザーによるコンサルティングに代わるものとして使用することはできません。
2. 当社は、本資料の記載項目及び内容につき、正確性、完全性、信頼性その他一切の表明・保証をするものではありません。
3. 本資料の記載項目及び内容は、当社の自由裁量により、撤回、変更、追加がなされうるものであり、当社はこれに拘束されず、一切責任を負いません。